活用例　裏庭での出来事（教科書１年 P.70-74）

	学習活動（主な発問と児童の反応）	指導上の留意点
1	**▶「責任」に関わる自分の経験を振り返る。** **○あなたが係や当番の仕事などをするときに、大事にしていることはありますか。** ・やり方を間違えないようにする。 ・休んだり、怠けたりしない。 ・人任せにしない。 ・自分が任されていることをしっかりする。 ・最後まで責任感をもってする。	・本時のテーマである「責任」は抽象的なので、自分の経験から考えさせる。係や当番など、担当する役割や仕事を行うときに、生徒がどんなことを大事にしているかを問う。出てきた意見から、教師が「責任」という言葉をキーワードとして示す。日頃から係活動や当番などをがんばっている生徒を意図的に指名してもよい。
	テーマ　自分の行動に責任をもつとは、どういうことだろう。	
2	**▶「裏庭での出来事」を読んで、話し合う。** **①松尾先生が来たとき、ガラスを割ったことを言わなかった健に共感できますか。** 〈共感できない〉 ・自分がやったことを言わないのはひきょうだ。 〈まあまあ共感できる〉 ・言わなければいけないのはわかるが、先生に怒られたくないから言えなかった。 **②英語や部活の時間の健は、どんな気持ちでいたでしょう。** 〈ちょっとだけ悲しい〉 ・自分がうそをついてしまう人間だとわかって悲しい。 〈ちょっとだけやりたい（言いにいきたい）〉 ・このまま逃げていていいのか。言いにいきたいけど、先生に怒られるも嫌だな。 〈まあまあ後悔している〉 ・なんであのとき言えなかったのか。先生に本当のことを話して怒られたくないし、雄一にも申し訳ない。早く忘れたい。 〈とても後悔している〉 ・なんであのとき言えなかったのか。ごまかしたままでいいのか。ずっと悩んだままなんて嫌だな。 中心的な発問 **③一人で職員室へ向かっているとき、健は、どんなことを考えていたでしょう。** ・正直に話せば、許してもらえるはずだ。 ・たとえ許してもらえなくても、自分のしたことは自分で責任を取らなくてはいけない。 ・自分のしたことを人のせいにしていては、その人にも悪いし、自分も苦しむ。 ・人に流されるのではなく、自分が正しいと思うことをしたい。	・教材文が長いので、要点をスライド化して示したり、教師が数名で劇化したりするなど、教材提示の工夫をする。 ・松尾先生に対する健の行動に共感できるかをスマイルメーター❷の「共感する」を選ばせて、理由とともに考えさせる。数名の意見を全体に共有する。 ・スマイルメーター❷で、健の気持ちを考えさせる。個々で考えた後、ペアやグループになって、自分のメーターを見せ合い、どうしてその気持ちを選んだのか、理由とともに話し合わせる。同じ気持ちを選んでも、程度が違う場合もあるので、その違いに着目させる。その後、全体で共有する。共有の際には、大型モニターに映すとよい。 ・スマイルメーターで挙げられている以外の言葉でもよいと伝える。 ・雄一への申し訳なさや、自分自身の良心の呵責、臆病さなどに悩む心の内などを想像させる。 ・「好きな」英語や部活でも、集中できないほど悩んでいることを確認して、健の気持ちを自分事として考えられるようにする。 ・健の気持ちを具体的に考える前に、スマイルメーター❷の「やりたい（先生に話しに行く）」のメーターを見せて、発問②で考えた気持ちから変化したことを押さえてもよい。 ・先生に許してもらいたいという考えにとどまるのではなく、健が自分自身の在り方について考え行動していることに気づかせる。追発問で「先生に許してもらえなかったら、健は先生に本当のことを言ったことを後悔するのかな。」などと問うてもよい。
3	**▶「責任」について考えたことを振り返る。** **○今日学習したことを、生活の中でどのように生かしていきたいか書きましょう。**	・本時で考えたことをもとに、ワークシートなどに書かせる。数名に発表させ、全体で共有する。